

優秀作品（特別賞）の紙上ギャラリー

1月26日（木）に「黒石市子ども美術展」の作品審査会が行われました。市内の学校からたくさんの応募があり、入賞作品が決まりました。



↑ 市連合PTA会長賞
「リコーダーをふいている自分」
3学年 盛さん



↑ 市教育長賞
「魚のお出迎え」
4学年 菅井さん



↑ 市議会議長賞
「大事にしたい建物」
5学年 野呂さん



↑ 市連合PTA会長賞
「ふかいうみへ いっちゃった」
1学年 武田さん



↑ 市連合PTA会長賞
「プロレスおうえん」
2学年 北山さん

《特別賞の作品講評》

- ◆ 1学年 武田さんの作品（クレヨンと水彩）
・力強い筆圧で、のびのびと表現しています。描きたい主体が明確で、背景は筆のタッチも工夫して着色されています。夢のある作品です。
- ◆ 2学年 北山さんの作品（クレヨンと水彩）
・日常生活の楽しかった一場面「プロレス観戦」を思い出しながら楽しく描写しています。色画用紙が生かされ、統一感のある色合いが美しい作品です。
- ◆ 3学年 盛さんの作品（木版画）
・人物の動きを正確にとらえ、誠実に描写しました。彫りの技能が高く、大変丁寧な彫り方です。彫り跡も刷りも美しい秀作です。
- ◆ 4学年 菅井さんの作品（水彩画）
・色鮮やかな色彩で、インパクトのある作品です。背景の紅葉は特に美しいです。人物の表情や明るい色使いにより、その時の楽しさが伝わってきます。
- ◆ 5学年 野呂さんの作品（水彩画）
・水を含ませた淡い色使いで、立体感のある作品に仕上がりました。絵の具の混色や濃淡によって、光を感じさせる絵になりました。

連載コラム 公子の部屋

1月26日（木）に、テレビ朝日「ナニコレ珍百景」の取材の方が本校にやってきました。なんでも、給食の様子を撮りたいのだとか。ほぼ一日学校にいて、インタビューしたり、あれこれカメラを回したりしていました。みなさんにお伝えしたいエピソードもあるのですが、まだ放送されていないため、詳しいお話は次回に回します。どんな感じで紹介されるのかとても楽しみです。ただ、放送日決定の連絡がありません。「3月までには放送する」と言っていました……。

さて、3年生の授業中に「明日、マッコ市だね」と言ったら、まさかの「マッコ市ってなーに？」と言った子が。えー！！黒石市民がマッコ市を知らないなんて！と衝撃を受けました。（もちろん知っている子もいたのですが）「なぜマッコ市という名前かわかる？」という問いにはほぼ全滅でした。「ほらー。お正月にもらうものは？」「お年玉！」「お年玉以外になんていう？津軽弁で」「うーん…じえんこ！！」（確かに津軽弁なんです……）「マッコって言うでしょう！」「えー！！知らなかった！」

確かに、ここ数年コロナでマッコ市が開催されていなかったり、規模が縮小されたりで、以前ほどの賑わいはなかったのかもしれませんが。私もついつい授業そっちのけで、朝5時くらいから開催すること、買い物するとマッコがもらえること、黒石ならではのイベントであることなどを力説しました。私が以前本校に勤めていたときは、餅まきにたくさんの子が参加したり、『たまごっち』の限定発売があって何百メートルもの行列ができていたりしました。我が家の子どもたちの机や制服はマッコ市で買いました。

マッコ市の翌日「昨日、マッコ市にいった人？」と聞いたら、クラスの2/3ほどの子どもが手を挙げていました。私も黒石の経済を回すために一役かえたかもしれません。マッコに何が入ってたか聞いたら「トイレットペーパー！」「洗剤！」「おせんべい！」「ティッシュペーパー！」という答え。「アンパンマンのコップ！」で大爆笑していました。